

肺リンパ脈管筋腫症（LAM）に関する共同研究

<難治性疾患克服研究>

研究目的、研究成果

- ◆ 遺伝子異常を起こした細胞（LAM細胞）が肺やリンパ管、腎臓などで増殖し、肺において組織破壊を引き起こす、という機序が明らかとなってきました。しかし、大変まれな疾患であり、日本国内の患者の実態は不明でした。
- ◆ LAM患者の全国調査を実施し、症状や検査所見、治療などの実態を把握することができました。それに基づいて、「LAM診断基準」および「LAM治療と管理の手引き」の作成に至りました。さらなる疾患解明と治療法開発に向けて多角的な研究の進歩がありました。

研究の概要

